

## 2002 年度オフィシャル報告

### 1) 活動報告

#### 1) オフィシャル活動日程

2002年6月15・16日	紫陽花合宿	茨城県日立市	玉簾の滝
2002年6月23日	インカレショートセレクション	埼玉県日高市	日和田山
2002年8月29日～9月2日	夏合宿	山梨県大泉村	八ヶ岳レジャーセンター・旭山堤山
2002年9月22日	プレセレ対策練習会	東京都青梅市	二ツ塚峠
2002年9月29日	関東地区プレセレクション	東京都青梅市	笹仁多峠
2002年11月3日	菅平インカレショート	長野県真田町	菅平牧場
2002年11月16・17日	本セレ対策練習会	栃木県日光市	日光所野
2002年12月1日	関東学連本セレクション	茨城県里美村	プラトーさとみ
2003年2月9日	関東リレー大会	栃木県矢板市	番匠峰古墳
2003年2月22・23日	インカレ前合宿	茨城県日立市	神峯
2003年3月7～9日	愛知インカレ	愛知県下山村	花沢・田代

インカレ・セレクションとその対策練習・夏合宿が活動内容の中心となりました。今年度は、上記、大会・練習会にてオフィシャルとして現役生の指導・サポート・運営補助を行いました。

技術面や練習コース設定のアドバイス等を上坂コーチが、オフィシャル運営やリレーメンバー選考の中心として塙が活動する形でした。

インカレでは個人戦で田口久美子がWAL2位入賞、惜しくも引地がMAL4位。また団体戦では、男子は実力を存分に発揮できたものの残念ながら規定時間オーバーとなってしまうましたが、女子が過去最高7位と健闘しました。(インカレの結果は3)で紹介いたします)

昨年の運営中心世代9期は3名しかおらず、現役生の運営能力が全般的に不足していたこともあり、OB・OGの方に運営協力をお願いする場面が多くなりました。(特に9月22日の練習会においては、前日に設置しに行くこともありました。)

運営に協力していただいた皆さん、本当にありがとうございました。

### 2) 将来への提言

オフィシャル活動をしていて、気が付いたことをお知らせします。

#### 1) 現役生練習会への参加について

今年は、前述したように例年に比べてOB・OGに運営協力をお願いする場面が多く

なりました。しかし、参加していただける方がやや少ないなと感じることがありました。

実際に、インカレで結果を残している大学ですと、運営協力するメンバーとさらに参加することで現役生をサポートする(=刺激する)メンバーで、たくさんのOB・OGが練習会に参加しています。

みなさん、仕事・学業で忙しいのは十分承知していますが、ぜひ積極的に現役生主催の練習会に参加してほしいと思います。

## 2) 賛助会員

昨年度10月、僕の個人的な事情により、インカレ・インカレショートでオフィシャルとして参加できない可能性が生まれる事態が起きました。実際には、無事参加できていますし、後期から上坂さんにもオフィシャルになっていただいたので、オフィシャル不在という状況にはなりませんでした。

そこで気が付いたのですが・・・

これまでは大丈夫でしたが、今後、インカレでやむをえない事情でオフィシャル不在になる可能性が無いとは言えません。その際に、そのままでは現役生への影響は大きなものになってしまいます。

そこで、最悪のことを考えて、インカレに観戦する場合、できるだけ賛助会員に登録するという対策を提案します。

## 3) 上坂コーチより、今年度の活動にて感じたことを伺いました。

以下、その内容です。

まず上達するには、上級者が経験の低い者に指導するのが効果的なことは明らかです。オリエンテーリングは大学に入ってから始める者がほとんどであり、最上級の4年生であってもキャリアは3～4年で、高いレベルに到達するのはかなり難しいです。茨城大の場合、学生時のレベルはまずまずであってもその後競技を続ける人が多くないため、学生よりはるかに経験を積んだレベルの高い人間があまり多くないと感じました。そのためどうしても違ったタイプのオリエンティアが出てこない。多少の差はあれ、みな同じような考え方、やり方をしているように思います。

オリエンテーリングは順位を目指さなくても、続けているだけである程度うまくなる面もあるし、やること自体を楽しむことはできるのだから、卒業後もオリエンテーリングを続けて欲しいと思います。

あと、合宿で感じたのは、これほどOBがひたすら運営する合宿は初めてだということです。メインレースは学生に準備させないようにするとしても(自分はメインレースでも学生に手伝わせてもいいか、とさえ思う)運営ではなく、もっとOBがオリエンテーリングをする目的で合宿に参加してもよいのではないかと思います。

### 3]活動報告詳細

活動報告をMLに投稿しましたが、その中から幾つか抜粋し転記いたします。本来は全ての活動について書くべきなのですが、12月にパソコンが壊れてしまったため、残っているもののみの転記とします。

議事録の資料として、後日六国会HPに掲載されると思いますので、それまでに残りの活動報告を探したいと思います。

#### 1) インカレ前合宿報告

2月22～23日

トレイン「神峯」(茨城県日立市)

会場：中里若者センター

参加者：

大藤・川口・小泉・世田・引地・田口(久)・鳥羽田

綾部・石母田・京相・佐藤・下村・田口(裕)

岩田・蛭田・阿久津・槐・久保田

上坂・埴

#### 22日 練習

午前：サーキット

午後：ファシユタ

夜：愛知 IC 対策

#### 23日 メインレース・男子セレ

インカレリレー相当のコースを基準として設定した。

ME、M-sel、WEは5～10%ほどインカレ基準よりも設定が厳しいコースとなりました。結果は次の通りです。

#### \* ME (5200/250)

1・(3001) 上坂寛之 48'33"

2・(3002) 引地隆介 1:01'28"

3・(3003) 川口大貴 1:11'25"

#### \* WE (3700/180)

1・(4001) 田口久美子 56'59"

2・(4002) 小泉沙織 1:09'12"

3・(4003) 鳥羽田恵理 1:15'07"

\* MF (2900/140)

1	・ (5002) 石母田篤	51'50"
2	・ (5003) 佐藤祐樹	1:41'55"
3	・ (5001) 綾部孝	2:18'50"

\* M-Sel (5200/250)

1	・ (6004) 世田紘基	1:29'05"
2	・ (6003) 京相健二	1:50'33"
3	・ (6001) 下村英雄	2:01'22"
4	・ (6002) 大藤弘典	2:02'54"

2) インカレ団体戦報告

男子選手権クラス。

残念ながら茨城大は規定時間オーバーとなりました。

全員自分の実力を発揮できていましたが、コースセットが厳しかったこともあって、ウム回避を逃れたものの4走段階で規定時間オーバーということになりました。

1 走引地がトップと6分差の10位で帰ってきました。第2集団に入っており想定どおり実力をだして回ってきていました。3年連続1走の経験も生きるいい走りでした。

2 走京相はおそらくここまで難度の高いコースは初めてだろうと思われるコースで苦戦した模様です。しかしながら上級生と互角に走れているレッグもあり実力を出せたレースだったと思います。来年以降、ぜひこの経験を生かして目標を達成して欲しいと思います。1年生エリートとしてよく頑張りました。

3 走川口は1走のような人の流れがない中で60分前半の好タイムを叩き出しました。ウムスタートギリギリで帰ってきて見事世田にタッチしました。ここ一番での勝負強さが光っていました。

アンカー世田もこれまで4年間の経験を生かして、精一杯力の限りレースをしてくれました。しかし厳しい設定もあり残念ながら規定時間には届きませんでした。

結果は残念でしたが、走った選手・応援したチームの皆がこのリレーから得て来年に向けての糧となるレースでした。

1 ME 東京大学

3:20:57

-- ME 茨城大学

DISQ

女子選手権クラス。

創部以来、団体戦選手権クラスの最高位 7 位を記録しました。

女子も 1 走田口がトップと 7 分差、入賞圏内から 1 分差で帰ってくる好走でした。関東リレーで経験していますが、これが 2 回目(かな?) の 1 走。インカレ独特の雰囲気の中、トップ集団で回ってきた田口の勝負強さは立派でした。

鳥羽田も安定した走りを展開し、状況に応じた走りを求められる 2 走の役割をしっかりとこなして 9 位でタッチ。これまでのレースの課題を修正できて結果に結びついたと思います。

2 走終了時点で、6 位集団は 2 分以内に東北・相模女子・日本女子・茨城・東京農工がひしめく大混戦となりました。

3 走対決は、この集団の後方にいた宮城学院・千葉が驚異的なタイムを叩き出して 5 位・6 位に入りました。これは素直に 2 大学の 3 走の走りを称えるしかありません。

先の 6 位集団で入賞を意識したであろう 5 大学の 3 走で普通の走りが出来たのは茨城・東北のみ。さらに 2 走までで茨城と 4 分弱差で 5 位にいた金沢が若干遅れて 7 位争いはこの 3 校に絞られました。

この争いを制したのは 3 走小泉でした。8 位と 17 秒差・9 位と 32 秒差で競い勝ち見事 7 位に入りました。

3 人が役割をきっちり果たし、そして「いつもどおりの力」を出した結果だと思います。素晴らしい走りでした。

1 WE 筑波大学

2:43:09

7 WE 茨城大学

3:19:24

一般クラス。

1 年生中心で臨んだチームでした。

満足のいくレースが出来た人、結果から足りないものを見つけられた人、みんながそれぞれこの結果から得るものがあつたようです。

自分達のチームで走り、選手権のみんなを応援し、インカレの雰囲気を掴めたと思います。来年につながることを祈ります。

1 東京大学MA 1:53:42

69 茨城大学MB 田口 裕也 石母田 篤 佐藤 祐樹 3:16:25

78 茨城大学MA 大藤 弘典 綾部 孝 下村 英雄 3:38:40

MS 阿部正浩 P1

男子・女子とも善戦でした。

インカレまでにチームが団結して実力を伸ばして、本戦で選手は実力を発揮できるようにする。選手権を走る人も準備をするし、走らない人も精一杯応援する。つまりは、団体戦の結果はクラブの力を表現する場なのです。

今回のレースで実力を出せたことは自分達で評価してよいと思います。

しかしながら結果を評価すると同時に、反省してまた課題を見つけることも大事です。男女とも目標には届かなかったこともまた事実。

個人でクラブでインカレに向けての準備の量・質が、目標に届くまでのものでは無かったのだとも言えます。

今回、OLD のみんなは本当に良く頑張った。

よく頑張ったからこそ、この結果から次の一步を踏み出す材料を見つけて欲しいのです。

各自のトレーニングや OLD の行事の 1 つ 1 つに、今年以上にインカレに向けての目標を意識するための「意味」をもっと大きく考えよう。

そうして考えられた行動がクラブをより活発にして、雰囲気もさらに良くなっていく。

まだまだ可能性は秘めている君たちなら、きつともっと出来るはず。

来年以降も頑張ってください。

僕も応援します。

9 期のみんな。本当に 4 年間、お疲れ様。

いろんなことがあったけど、それをぜひ今後に活かしてくださいね。

オフィシャルの 1 年間、みんなのサポートをしていて、僕のほうもたくさんのお話を教わったと思います。

現役生の皆さん、支えてくれた OB・OG の皆さん、そして上坂さん、本当にありがとうございました。